

#### IV. 平成23年度後期 南紀熊野サテライト開講授業

##### 1. 大学院授業科目

H23 (甲)

授業科目	アジア経済の最新動向		
単位数	2	授業形態	講義
担当教員	李 東浩・柳 到亨・岡部 美砂		
実施日・時間	12月9日(金) 18:30~20:50	李 東浩	
	12月10日(土) 10:00~16:00	李 東浩	
	12月16日(金) 18:30~20:50	柳 到亨	
	12月17日(土) 10:00~16:00	柳 到亨	
	1月6日(金) 18:30~20:50	岡部 美砂	
	1月7日(土) 10:00~16:00	岡部 美砂	
<b>【講義内容】</b>			
(李 東浩)			
多くの大手企業は、母国以外でも積極的に事業展開を進めています。欧米・日本のような先進国の企業による国際的な事業展開は勿論長い歴史がありますが、最近、新興国による国際展開も目覚ましいです。この講義では、各国の大手企業のグローバルな事業活動を分析し、それに対応する適切なマネジメントの基本理論、枠組みと実態を受講生に紹介していきます。			
(柳 到亨)			
主にアジア流通においてグローバル化という現象がどのような動きとして現れているかを理論的に分析することになります。この授業では、アジア小売企業の国際競争力をテーマにし、小売企業はいかにして国際的に競争力を発揮するかの問題を明らかにします。この課題を達成するためには、「小売国際化」の基礎理論を学び、その理解を前提として複数のケースを取り上げて現状を把握します。			
(岡部美砂)			
ASEAN諸国は、90年代末のアジア通貨危機を乗り越え、著しく成長する中国経済の影響を受けつつ、東アジア地域連携のハブ的な役割を果たしてきました。今後益々、東アジアの地域経済協力の要としての役割が期待されるASEANによる、地域経済統合に向けた取り組みと、その現状(貿易・直接投資構造の変化、サービス分野の自由化、技術移転・人的資源の協力体制等)を紹介します。また、多様なASEAN各国の経済発展過程と、東アジア経済および世界経済全体を合わせて概観することで、今後の東アジア地域経済の展望を考えます。			
<b>【テキスト・教材】</b>			
(李 東浩) テキスト・教材はないですが、以下の参考書を入手してください。			
1. 藤本隆宏・新宅純二郎(2005)『中国製造業のアーキテクチャ分析』東洋経済新報社。			
2. 湯谷昇羊(2010)『巨龍に挑むー中国の流通を変えたイトーヨーカ堂のサムライたち』ダイヤモンド社。			
3. 青島矢一・武石彰・マイケル・A・クスmano(2010)『メイド・イン・ジャパンは終わるのか』東洋経済新報社。			
(柳 到亨) テキスト 向山雅夫・崔 相鐵(2009)『小売企業の国際展開』中央経済社			
(岡部美砂) テキスト・教材は講義中に資料を配布します。また、参考文献は適宜紹介します。			
<b>【事前学習】</b>			
(李 東浩) 特になし			
(柳 到亨) 特になし			
(岡部美砂) 特になし			